

足羽川ダム建設事業の検証に係る検討状況

平成24年1月11日
近畿地方整備局





◆検討手順のイメージ

足羽川ダムの検証に係る検討

(H22.12.2. 検討の場 設置)

『ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目』に基づく検討の指示

流域の概要・治水対策の状況

検討の場

(H22.12.10. 第1回幹事会)

複数の治水対策案の立案

検討の場

(H23. 8.25. 第2回幹事会)

26の方策を参考にして、幅広い方策を組み合わせ検討を行い、27の治水対策案を立案

概略評価による治水対策案の抽出

検討の場

(H23.10.31 第3回幹事会)

立案した27の治水対策案の概略評価を行い、5案を抽出

意見募集

パブリックコメント

(H23.11.1～11.30)

反映

治水対策案の評価軸ごとの評価

1案を追加し、28の治水対策案の概略評価を行い、6案を抽出

7つの評価軸により評価

総合的な評価

検討の場

(今回)

対応方針(素案)の作成

意見聴取

学識経験を有する者、関係住民、関係地方公共団体の長
(河川法第16条の2(河川整備計画)等に準じて行う。)
※関係住民への意見聴取を補足する手段としてパブリックコメントを並行して実施

反映

対応方針(原案)の作成

検討の場(予定)

意見聴取

事業評価監視委員会

反映

対応方針(案)の決定

本省への検討結果の報告

※ 検討手順のイメージを示したものであり、議論の内容により変更する場合がある。

検証対象ダム事業等の点検

◆ 関係地方公共団体からなる検討の場の開催状況

月 日	議 事	
平成22年 12月 2日	「足羽川ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」の設置	
12月10日	検討の場（第1回幹事会）	・規約について ・検証に係る検討手順 ・流域及び河川の概要 ・足羽川ダム建設事業の経緯及び概要
平成23年 8月25日	検討の場（第2回幹事会）	・足羽川ダム建設事業の点検（堆砂計画） ・複数の治水対策案の立案
10月31日	検討の場（第3回幹事会）	・検証に係る検討手順 ・足羽川ダム建設事業の点検（総事業費、工期） ・概略評価による治水対策案の抽出 ・意見募集について
平成24年 1月11日	検討の場（第1回） 検討の場（第4回幹事会）	・検討の経緯 ・足羽川ダム建設事業の点検（データ等） ・パブリックコメント結果 ・治水対策案の評価軸ごとの評価 ・総合的な評価 ・意見聴取等の進め方

◆ 足羽川ダム建設事業の点検状況

【 総事業費及び工期の点検 ※¹ 】

・今回の検証に用いる残事業費及び工期は以下の通り。

残事業費：約 841億円 ※²（平成22年度以降の費用を想定）

工期：約 13 年（工事着手から試験湛水終了までを想定）

※¹ 「参考資料－2 足羽川ダム建設事業の点検」を参照。

※² 「参考資料－2中(1)総事業費の点検」に示した平成19年2月の九頭竜川水系河川整備計画策定時の総事業費を対象に、平成21年度までの事業実施状況は契約実績を反映させ、現時点での事業の進捗状況を踏まえるとともに、平成22年度以降の残事業については、物価変動を考慮して総事業費を点検。
また、残事業の数量や内容については、明らかな今後の変動要素も考慮して分析評価。

【 堆砂計画の点検 ※¹ 】

・平成19年2月の河川整備計画策定時に計画された計画堆砂量を基に、算出条件に変更がないか点検を実施するとともに、計画堆砂量算定において、計画の前提となるデータについて、新たなデータを確認することによる計画堆砂量の妥当性について点検を行った。

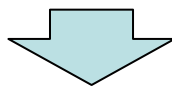
点検の結果、足羽川ダムの計画堆砂量は、現計画（50万m³）で妥当と考える。

※¹ 「参考資料－2 足羽川ダム建設事業の点検」を参照。

◆ 複数の治水対策案の検討状況

【 治水対策案の目標の設定 】

治水対策案の目標としては、河川整備計画において想定している目標と同程度の目標を達成することを基本とし、九頭竜川水系河川整備計画において設定されている「戦後最大規模の洪水」とした。

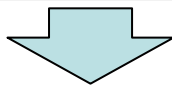


【 複数の治水対策案の検討 】

「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目（以下、「検証要領細目」という。）」に示されている 26 方策を参考にして、様々な方策を組み合わせ、次に示す4分類毎に複数の治水対策案（足羽川ダムを含まない案）を検討した。（28 ※¹の治水対策案）

- | | |
|-----------------------|--------|
| I. 河道改修を中心とした対策案 | (7 案) |
| II. 大規模治水施設による対策案 | (7 案) |
| III. 既存ストックを有効活用した対策案 | (7 案) |
| IV. 流域を中心とした対策案 | (7 案) |

※1 パブリックコメントのご意見を踏まえ、治水対策案1案を追加。



【 概略評価による5つの治水対策案の抽出 】

複数の治水対策案（足羽川ダムを含まない案）について概略評価を行い、I ～ IVの4分類より6案※²を抽出した。

- | | | |
|-----------------------|-------|----------------------|
| I. 河道改修を中心とした対策案 | _____ | ●河道改修案（日野川：堤防のかさ上げ） |
| | _____ | ●河道改修案（日野川：引堤） |
| II. 大規模治水施設による対策案 | _____ | ●新規遊水地案 |
| III. 既存ストックを有効活用した対策案 | _____ | ●既設ダムの有効活用案（5ダム有効活用） |
| | _____ | ●既設ダムの有効活用案（2ダム有効活用） |
| IV. 流域を中心とした対策案 | _____ | ●流域を中心とした対策案 |

※2 パブリックコメントのご意見を踏まえ、評価軸ごとの評価を行う治水対策案1案を追加。